

山岳写真家 白籐史朗講演会 父の山 鳥海山を語る やわた文化祭50回記念事業

灼熱の鳥海山 - 御浜 - / 1997年撮影

日時 / 平成30年10月20日(土) 午後6時30分開会(午後6時開場)

場所 / 八幡タウンセンター ホール

講師 / 白籐史朗氏 (世界的山岳写真家)、神長幹雄氏 (雑誌「山と溪谷」元編集長)

内容 / PR「ジオパークってどげだな？」

白籐史朗氏講演「父の山 鳥海山を語る」

神長幹雄氏講演「登山者に人気の鳥海山」

講師と地元関係者によるトーク

「ふれる、楽しむ、“もっと鳥海山を”好きになる」

入場料 / 無料



白籐史朗氏



神長幹雄氏

主催 / 酒田市、酒田市芸術文化協会 八幡支部、鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会
お問い合わせ / 酒田市八幡総合支所 地域振興課 Tel. 0234-64-3111

白籜史朗氏プロフィール

1933年（昭和8年）山梨県大月市生まれ。

世界的に著名な山岳写真家。1962年（昭和37年）山岳写真家として独立。

南アルプス、尾瀬、富士山、ネパール、カラコラム、アルプス、

ロッキーなど内外の山岳に取材し、各種出版物に発表。

写真集、エッセイ集など著作を多数刊行するとともに、

50回におよぶ個展を開催するなど精力的に活動し、山岳写真の分野を確立。

山岳写真の会「白い峰」会長、日本アルパインガイド協会会長、日本高山植物保護協会会長などを歴任。

現在、南アルプス芦安山岳館にて「白籜史朗の世界と『白い峰』写真展」を開催中。

父親が八幡地域の下黒川出身であることから、鳥海山を「父の山」と呼ぶ。

神長幹雄氏プロフィール

1950年（昭和25年）東京都生まれ。

1975年（昭和50年）信州大学人文学部卒業。在学中に2年間休学してアメリカへ。

出版社 山と溪谷社に入社後は、雑誌「山と溪谷」、同「skier」などの編集部を経て、

1994年（平成6年）11月から1998（平成10）年11月まで「山と溪谷」編集長。

その後は同社出版部に所属し、「垂直の記憶」「『アルプ』の時代」

「安曇野のナチュラルリスト 田淵行男」などの山岳図書を多数編集。

海外取材の経験も多く、個人的にもこれまで訪れた国は60カ国以上。

著書に「運命の雪稜」、近著に「未完の巡礼 - 冒険者たちへのオマージュ」など。

日本山岳会会員。鳥海山へは取材や個人的に度々来訪。

講演会次第

開 会

酒田市八幡総合支所長・司会／チアーズ 加藤明子

PR 「ジオパークってどげだな？」

鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会 主任研究員 岸本誠司氏

講演 「父の山 鳥海山を語る」

講師／白籜史朗氏

講演 「登山者に人気の鳥海山」

講師／神長幹雄氏

休 憩

トーク 「ふれる、楽しむ、“もっと鳥海山を”好きになる」

白籜史朗氏、神長幹雄氏、佐藤香奈子氏（鳥海山シートゥーサミット実行委員長）、阿曾清浩氏（八幡山岳会長）

質問タイム

閉 会